

(様式6-3)

研修等 報告書

令和5年 8月 10日

三田市議会議長

様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	
		議員名	美藤 和広
参加者氏名	美藤 和広		
講演会等研修名	令和5年度 地域公共交通政策セミナー		
研修事項	＜公共交通の再生に向けた地方議員のための研修会＞ ～交通政策の基本的な考え方や先進事例・計画手法等～ レクチャー：・自治体における公共交通政策総論 レクチャー：・公共交通政策の財政と負担 レクチャー：・まちづくりとは レクチャー：・地域公共交通と福祉交通 レクチャー：・公共交通政策の実践 意見交換：「持続可能なまちと地域公共交通－課題解決に向けて－」		
日 時	令和5年8月2日（水曜日）10:00～17:00		
場 所	〒534-0026 大阪市都島区網島町 6-20 大阪私学会館		
所見	別紙参照		
添付資料	開催案内 レクチャー：・自治体における公共交通政策総論 レクチャー：・公共交通政策の財政と負担 レクチャー：・まちづくりとは レクチャー：・地域公共交通と福祉交通 レクチャー：・公共交通政策の実践  (資料は肥後議員提出分：参照)		

2023-08-02 交通

◆セミナーのポイント

公共交通はコロナ禍で大きな痛手を受けた。

- ① まず出血を止める
- ② こけても血がでない体質を作る。

富田林では高齢者サロン 260 ある

福祉を公共交通でつなぐ活動…道路運送法が関係してくる

◆地域公共交通会議で地域包括との連携

車両保険の課題は市の車を借りるなど

例:対象者が買い物に行く際 2 人が対応し、1 人が運転 1 人は付き添いとし、付き添いに千円を払う。  
帰りは入れ替わることによって 1 人千円ずつ払われることになる。

◆美藤の質問

1987 年から 10 年連続人口増加率日本一を記録した。

三田市は、人口急増の中、公共交通は後付けになった。

神戸電鉄フラワータウン線の開業は 91 年 10 月 28 日

公園都市線ウッディタウンまで開業は 96 年 3 月 28 日

本来はウッディタウン中央駅ー学園地域ー産業団地テクノパークまでつながることで、  
双方方向に乗客があり、バランスのとれた運行ができたはずである。

また JR と並行しているため、その間を結ぶ路線があれば、もっと循環型が実現する。  
オールドニュータウンをどのように再生すればいいのか。

- ・コンパクトシティー・自動運転・モビリティー・高齢者の免許返納など

◆地域の運送課題として

- ・バス・トラック・タクシー・コミバスなど人手不足がある。

2024 年働き方改革の問題…安いバス・人件費が 6 割

バス運転手の確保作戦

- ・待遇面の向上…運賃を上げる。
- ・バスは 2 種免許が必要だが、持たない人は入社してから取得ができる仕組み。
- ・寮(住もう)
- ・昇格制度の改善
- ・女性ドライバーやパートドライバーの採用など

いろいろな仕組みがある。

◆物流の改革

幹線沿いー職場エムエム工業団地…亀岡ルート 9 など

- ◆JR のコンテナ車を確認したが、今、コンテナ車の路線が全国で東海道線ぐらいしか残っていない。  
行政に限界がある。

加西市…バス運用のモデルがある…停留所  
業態の拡大で外国人・若い人などを取り込み、雇用促進  
近江鉄道でも、工場や会社の始業時間  
電車バスの利用

<所見>

公共交通の課題を整理していくとまちづくりにつながる。  
まちづくりにおいて公共交通をベースに考えていく必要があるということになる。  
今回体系的に説明をいただき、三田市の大きな課題が見えてきたと思う。

意見交換会では、JR のテクノパーク駅新設とバスの人材不足を質問したが、現実として、大きな課題として JR に対する壁があること、そして JR の駅から実際の工場までの距離が課題になると言う指摘もいただいた。バス運転手問題は、国も認識しているようなので、会社と一緒に課題解決に向けた行政の取り組みもアドバイスいただいた。

神戸電鉄の延伸も課題になったが、神戸電鉄そのものの鉄軌道の敷設負荷は大きく、より手軽な LRT ルート新設などの新たな方法の検討が必要との認識を得た。

これからも、全体的な視点による公共交通の可能性を感じるとともに、まちづくりへの寄与ができると確信ができた。

以上